

# 米づくり情報 第6号

令和6年8月6日

平坦部(佐賀県農業試験研究センター)

## 本年産水稻の生育状況(8月6日)

移植日	項目 品種	年次	草丈	茎数	葉齢	葉色	概況 (平年と比較して)
			cm	本/m <sup>2</sup>	L	SPAD	
6月18日	夢しずく	本年	91.8	349	12.6	40.8	[気象] 7月30日～8月5日まで ◆平均気温…平年より2.7℃高い ◆日照時間…長い(平年比146%) ◆降水量…少ない(平年比8.1%) [生育] ◆草丈 全ての品種で高い。 ◆茎数 「夢しずく」「ヒノヒカリ」「さがびより」は 少なく、「ヒヨクモチ」でやや多い。 ◆葉齢 「夢しずく」「さがびより」は平年並み、 「ヒノヒカリ」「ヒヨクモチ」はやや多い。 ◆葉色 「夢しずく」はやや濃い、「ヒノヒカリ」 「さがびより」は平年並み、「ヒヨクモチ」は 淡い。
		平年	83.0	407	12.6	39.5	
		平年比(差)	111	86	±0	+1.3	
	ヒノヒカリ	本年	82.0	471	12.8	37.9	
平年		74.8	513	12.4	37.5		
平年比(差)		110	92	+0.4	+0.4		
6月20日	さがびより	本年	80.7	465	12.6	38.3	
		平年	71.8	505	12.6	38.6	
		平年比(差)	112	92	±0	-0.3	
	ヒヨクモチ	本年	72.6	763	13.2	36.4	
平年		65.9	737	13.0	38.5		
平年比(差)		110	104	+0.2	-2.1		
留意点	○ 草丈は各品種とも前回より10cm～15cm伸長した。生育期間全般が高温であることと、6月下旬と7月3半旬の日照不足により、徒長して以降平年より高く推移している。 ○ 茎数は、各品種とも先週より減少しており、最高分けつ期を迎えている。 ○ 「ヒノヒカリ」は8月2日に幼穂形成始期(平年より2日早い)となっている。「さがびより」は8月8日頃に幼穂形成始期を迎える見込みである。						

- 注1)「夢しずく」、「ヒノヒカリ」は、6月18日移植の稚苗(播種期5/24、播種量 湿粳 180g/箱)  
 「さがびより」、「ヒヨクモチ」は、6月20日移植の稚苗(播種期5/27 播種量 湿粳 180g/箱)
- 2)栽植密度: 「夢しずく」は、条間30cm×株間17cm, 19.6株/m<sup>2</sup>(65株/坪)  
 「さがびより」は、条間30cm×株間20cm, 16.7株/m<sup>2</sup>(55株/坪)  
 「ヒノヒカリ」「ヒヨクモチ」は、条間30cm×株間15cm, 22.2株/m<sup>2</sup>(73株/坪)
- 3)栽培管理: 施肥法は県基準に準じ、防除他はセンターの慣行による。
- 4)概況欄の【草丈】、【茎数】の平年値との比較については、以下のように定義している。  
 低い(少ない): 94以下、やや低い(やや少ない): 95～98、平年並み: 99～101、  
 やや高い(やや多い): 102～105、高い(多い): 106以上。
- 5)平年値は、収量について過去の全試験年次の標準偏差(σ)を算出し、±1σの外側にある年次を除く年次を対象にした、各項目の単純平均値。

### 【窒素の時期別施用量(N kg/10a)】

品種	基肥	中追	穂肥Ⅰ	穂肥Ⅱ	実肥
夢しずく	3.0	0.0	2.0(7/31)	—	—
ヒノヒカリ	4.0	2.0(7/9)	3.0(8/6)	—	—
さがびより	5.0	0.0	2.0	—	—
ヒヨクモチ	4.0	3.0(7/12)	4.0	1.5	1.5

※括弧内の日付は農試作況圃場における施用日

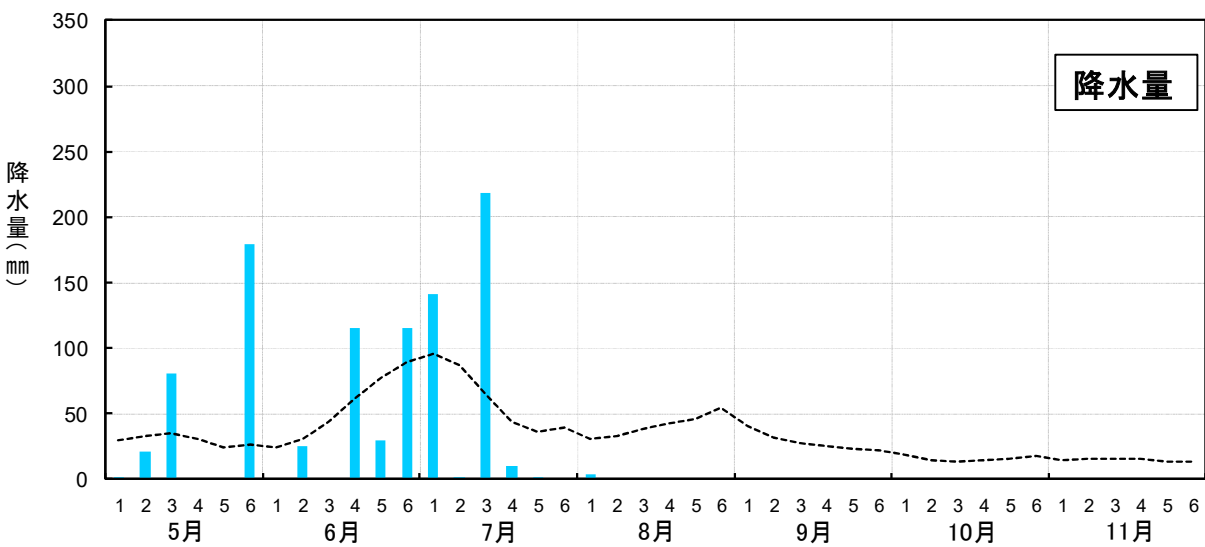
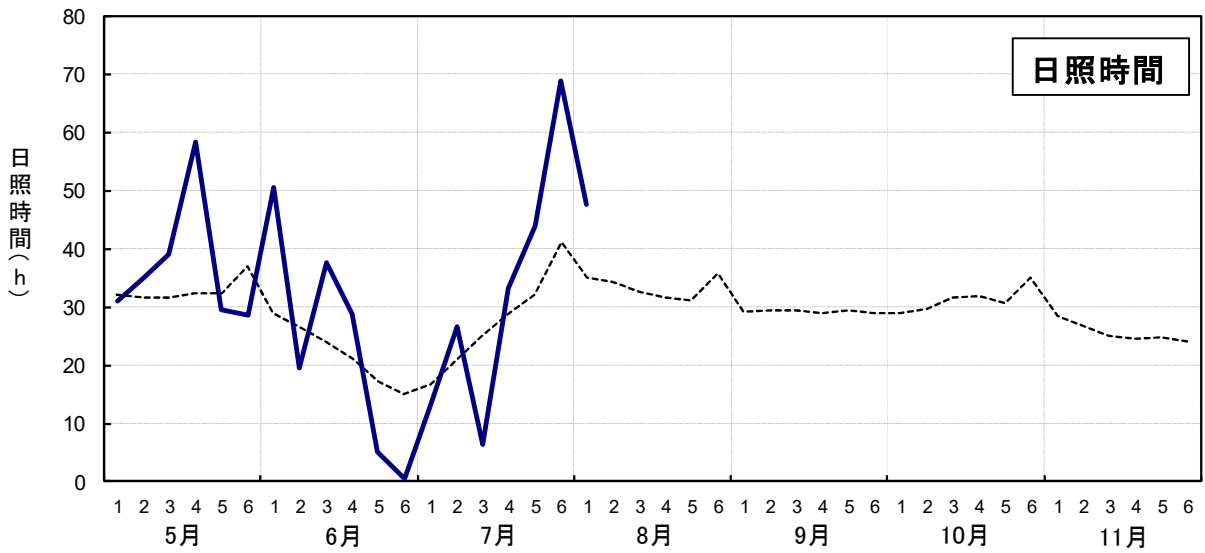
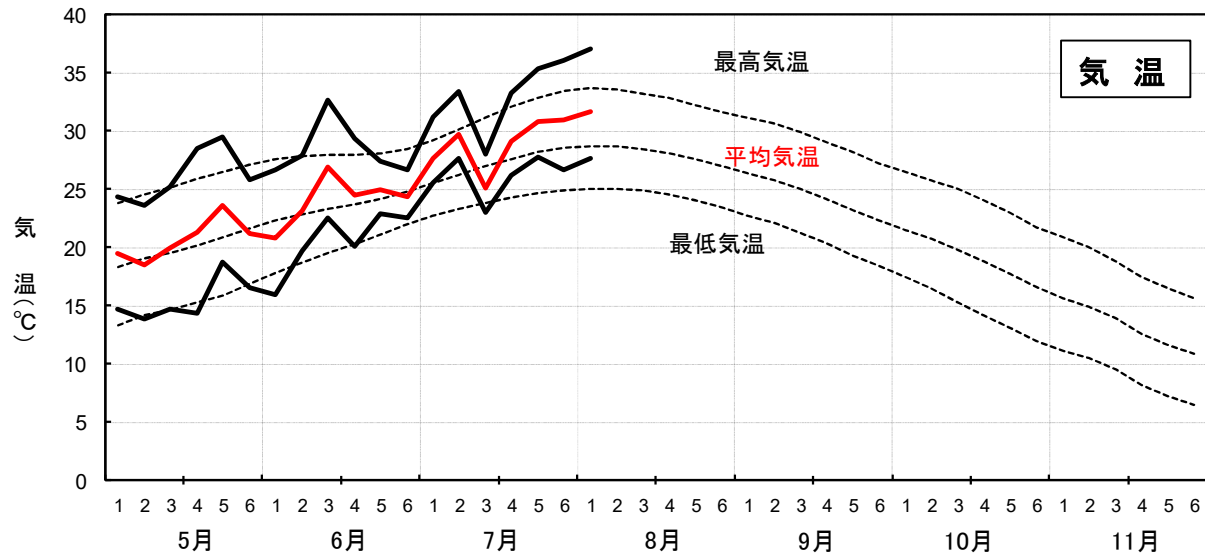
【農試作況圃場における幼穂形成始期と出穂期】

品 種	幼穂形成期(主茎幼穂長 1mm)			出穂期		
	本年(平年差)	前年	平年	本年(平年差)	前年	平年
夢しずく	7/28(±0)	7/28	7/28	未	8/17	8/17
ヒノヒカリ	8/2(-2)	8/7	8/4	未	8/27	8/27
さがびより	未	8/11	8/9	未	9/1	9/1
ヒヨクモチ	未	8/15	8/14	未	9/4	9/5

# 令和6年産 稲作期間気象図

## アメダス観測値(佐賀)

農業試験研究センター  
作物栽培研究担当



●病害虫に関する情報は以下のリンク(農業技術防除センター病害虫防除部)よりご確認ください。

<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00321899/index.html>